

# 道路建設事業の再評価項目調書

<b>事業名</b>	地域高規格道路 一般国道2号 岩国・大竹道路	<b>事業区分</b>	一般国道	<b>事業主体</b>	国土交通省 中国地方整備局
<b>起終点</b>	自：広島県大竹市小方一丁目 至：山口県岩国市山手町	<b>延長</b>	9.8 km		
<b>事業概要</b>					
<p>一般国道2号は、大阪市を起点とし、瀬戸内海沿岸の諸都市を連絡し、北九州市に至る延長約670kmの主要幹線道路である。</p> <p>岩国・大竹道路は、一般国道2号の混雑の緩和及び交通安全の確保を図るとともに、広島県と山口県の広域的な連携・交流・連結機能を図ることを目的としている。</p>					
H13年事業着手		H12年度都市計画決定		H15年度用地着手	
<b>全体事業費</b>	約1,330億円	<b>事業進捗率</b>	8%	<b>供用済延長</b>	0.0km
		(H21年度末現在)			
<b>計画交通量</b>	19,500 ~ 29,800 台/日				
<b>費用対効果分析結果</b>	B/C (3便益) (事業全体) 1.2 (残事業) 1.4	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 916 / 1,062 億円 〔事業費：894/1,040 億円 維持管理費：22/22 億円〕	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 1,250 / 1,250 億円 〔走行時間短縮便益：987/987億円 走行費用減少便益：176/176 億円 交通事故減少便益：86/86 億円〕	<b>基準年</b> 平成22年	
<b>感度分析の結果</b>					
残事業について感度分析を実施					
交通量変動		B/C= 1.7 (交通量+10%)		B/C= 1.1 (交通量-10%)	
事業費変動		B/C= 1.2 (事業費+10%)		B/C= 1.5 (事業費-10%)	
事業期間変動		B/C= 1.3 (事業期間+20%)		B/C= 1.5 (事業期間-20%)	
<b>事業の効果等</b>					
①円滑なモビリティの確保					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・損失時間の削減が見込まれる (8,957千人・時間/年⇒7,387千人・時間/年 約18%削減)</li> <li>・現道等における混雑時旅行速度の改善 (5.2km/h⇒24.4km/h)</li> <li>・岩国市内の路線バスの所要時間が短縮され利便性が向上</li> <li>・大竹市から新岩国駅 (新幹線駅) へのアクセスが向上 (大竹市役所～新岩国駅：65分⇒27分)</li> <li>・大竹市から岩国空港 (整備予定) へのアクセスが向上 (大竹市役所～岩国空港：45分⇒18分)</li> </ul>					
②物流効率化の支援					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大竹ICから岩国港 (重要港湾) へのアクセスが向上 (大竹IC～岩国港 (室の木地区)：47分⇒22分)</li> </ul>					
③都市の再生					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・山口県広域道路整備基本計画に交流促進型の広域道路として位置づけあり</li> </ul>					
④国土・地域ネットワークの構築					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域高規格道路岩国・大竹道路としての位置づけあり</li> <li>・岩国市及び廿日市市の日常生活中心都市間を最短時間で連絡する</li> <li>・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上 (大竹市役所～岩国市役所：44分⇒13分)</li> </ul>					
⑤個性ある地域の形成					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携プロジェクトを支援する (広島・宮島・岩国地域観光圏整備計画)</li> <li>・主要な観光地へのアクセス向上 (錦帯橋の年間観光客数 (H21)：78万人/年)</li> </ul>					
⑥安全で安心できるくらしの確保					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大竹市から岩国医療センター (三次医療施設) へのアクセスが向上 (大竹市役所～岩国医療センター：18分⇒14分)</li> </ul>					
⑦災害への備え					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道2号が山口県地域防災計画における緊急輸送道路として位置づけあり</li> </ul>					
⑧地球環境の保全					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出削減量が約17.4千t/年 (約2.8%) 削減 (621.8千t/年⇒604.4千t/年)</li> </ul>					
⑨生活環境の改善・保全					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・NOx排出削減量が約113.7t/年 (約3.9%) 削減 (2,946t/年⇒2,832t/年)</li> <li>・SPM排出削減量が約12.6t/年 (約5.1%) 削減 (247t/年⇒235t/年)</li> </ul>					
⑩他のプロジェクトとの関係					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・山口県道路の整備に関するプログラムに位置づけあり</li> <li>(広域交流を進める道づくり：空港・新幹線駅、港湾など広域交流拠点へのアクセス性を高める)</li> </ul>					

関係する地方公共団体等の意見

本道路の整備により、国道2号の渋滞緩和や地域連携の強化が図られるとともに、沿線住民の利便性・安全性の向上が期待されることより、広島市をはじめとする沿線市町村から構成される「広島・岩国間バイパス期成同盟会」より、早期整備の要望を受けている。

広島県知事の意見：

一般国道2号岩国・大竹道路について、対応方針（原案）案については異存はありません。  
岩国・大竹道路については、国道2号の慢性的な交通渋滞の緩和や、広島県西部と山口県東部の連携機能を向上するために、整備の必要があると考えます。  
今後も引き続きコストの縮減に努めながら、計画的に整備を進めていただきたい。

山口県知事の意見：

本事業の実施により、現国道2号の渋滞緩和や交通事故の減少等が見込まれるとともに、岩国基地民間空港などの広域交通拠点へのアクセス性の向上や岩国地域と大竹地域の連携強化が期待される。  
今後も、引き続き、地域の合意形成を図りながら、コスト縮減等に配慮の上、計画的に事業を進めていただきたい。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

平成19年度に岩国南バイパスが暫定2車線で供用したが、依然現道においては慢性的な渋滞が発生し、交通事故が多発している。また、平成24年度に岩国空港が運行開始となるため、さらに交通需要が見込まれる。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成21年度末で用地買収については35%完了している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

現在は、調査設計、用地買収を行っており、早期供用を目指し、事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

機能分離型支承等の採用により、コスト縮減を図っている。

【約0.9億円の減少】

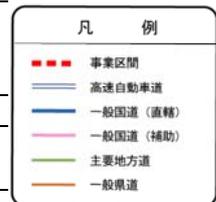
対応方針（原案）

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

いわくに おおたけ  
一般国道2号 岩国・大竹道路  
事業再評価

平成22年10月

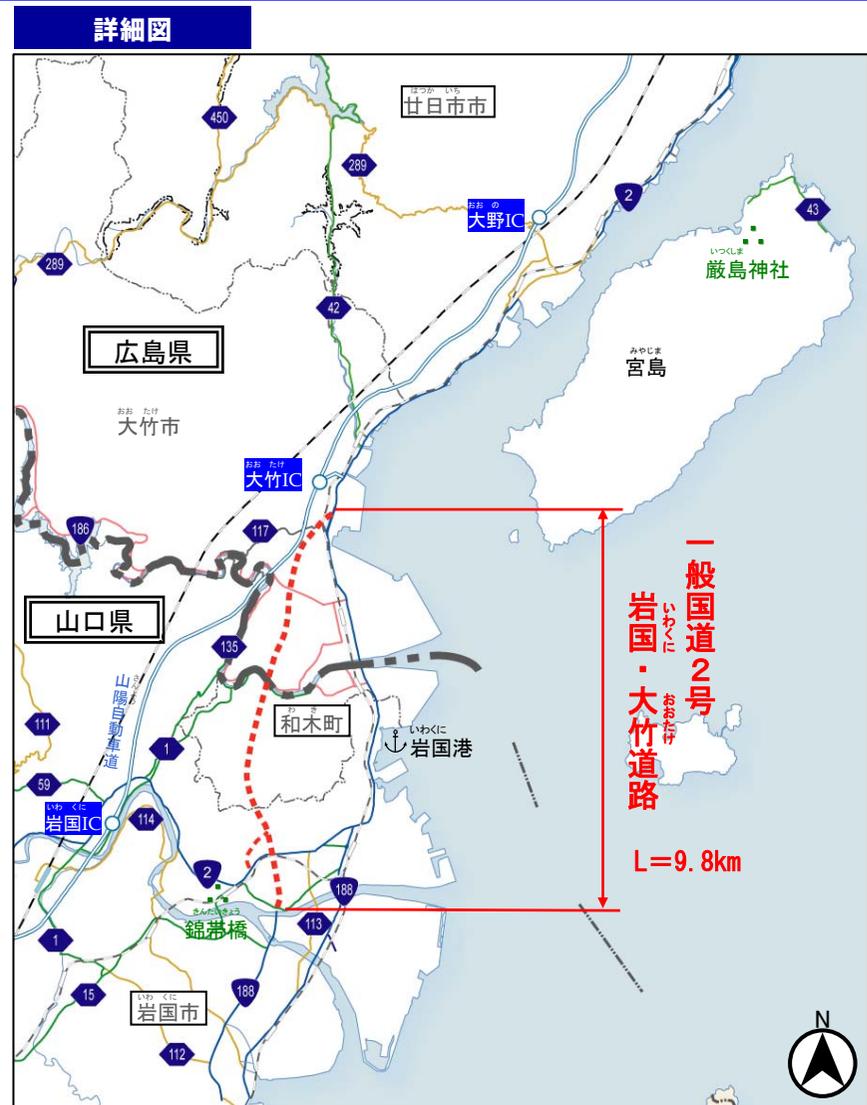
国土交通省 中国地方整備局

# 1. 位置図

- ◆ 一般国道2号は、大阪市を起点とし、瀬戸内海沿岸の諸都市を連絡し、北九州市に至る延長約670kmの主要幹線道路である。
- ◆ 岩国・大竹道路は、広島県と山口県を跨ぐ延長9.8kmのバイパスである。



凡 例	
.....	事業区間
====	高速自動車道、一般有料道路
====	一般国道（直轄）
====	一般国道（補助）
====	主要地方道
====	県道



# 2. 事業概要及び経緯

一般国道2号 岩国・大竹道路

## (1) 事業概要

◆ 岩国・大竹道路は、一般国道2号の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を図るとともに、広島県と山口県間の広域的な連携・交流・連結機能を図ることを目的としている。

### 計画概要

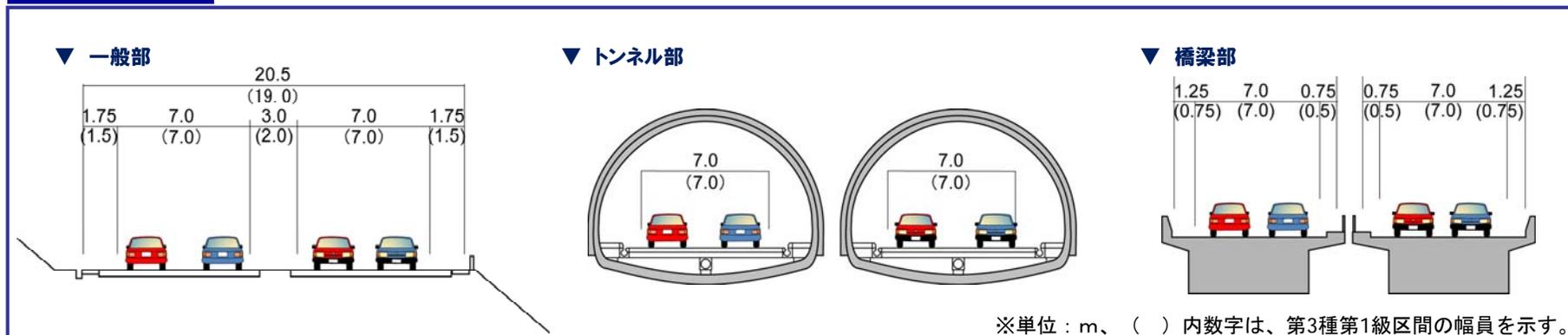
起 終 点	起点：広島県大竹市小方一丁目 終点：山口県岩国市山手町
計画延長	L=9.8km
道路規格	第1種第3級（起点～室の木IC（仮称）） 第3種第1級（室の木IC（仮称）～山手IC（仮称））
設計速度	80km/h
車線数	4車線
計画幅員	W=20.5m（第1種第3級） W=19.0m（第3種第1級）

### 詳細図



### 標準断面図

※構造物名称は仮称



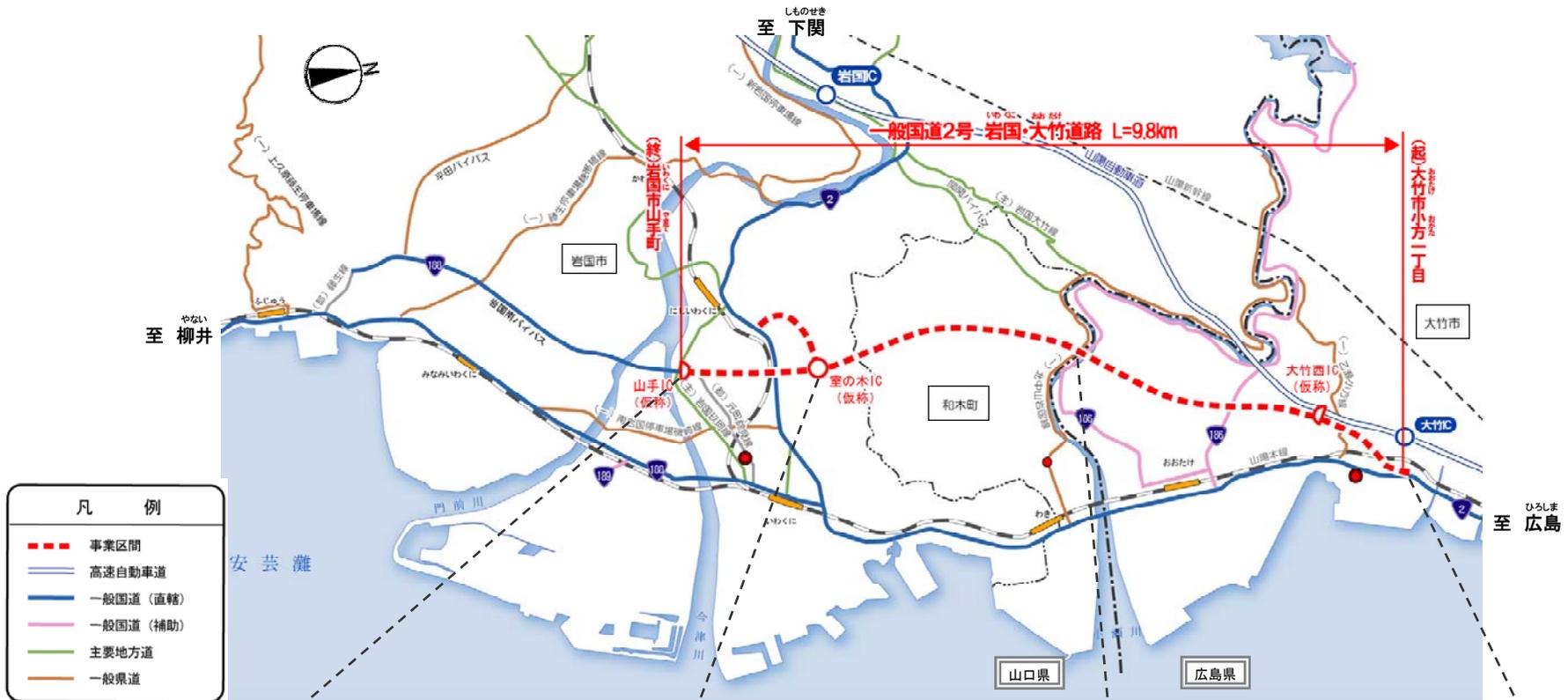
※単位：m、（ ）内数字は、第3種第1級区間の幅員を示す。

# 2. 事業概要及び経緯

一般国道2号 岩国・大竹道路

## (2) 事業経緯

◆ 平成12年度に都市計画決定し、平成13年度に事業着手し、平成15年度から用地買収を進めている。



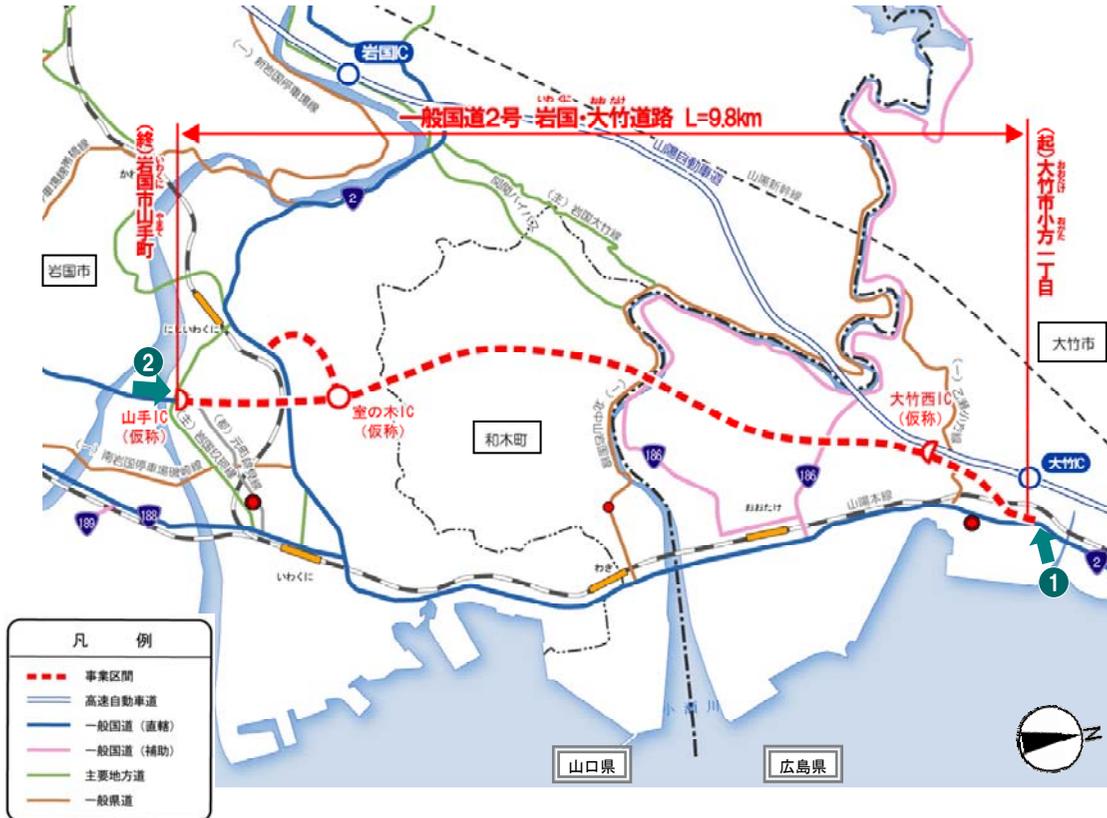
事業経緯	区間	山口県岩国市山手町 ~ 山口県岩国市室の木町三丁目	山口県岩国市室の木町三丁目 ~ 広島・山口県境	広島・山口県境 ~ 広島県大竹町小方一丁目
	年度	山口県岩国市山手町 ~ 山口県岩国市室の木町三丁目		山口県岩国市室の木町三丁目 ~ 広島・山口県境
平成12年度	都市計画決定(平成12年9月)		都市計画決定(平成12年8月)	
平成13年度	事業着手			
平成15年度	用地着手			
平成16年度		用地着手		
平成17年度				用地着手

## 2. 事業概要及び経緯

一般国道2号 岩国・大竹道路

### (3) 事業進捗状況

◆ 平成21年度末現在の用地取得は35%であり、引き続き用地取得を進めている。事業全体の進捗率は8%である。



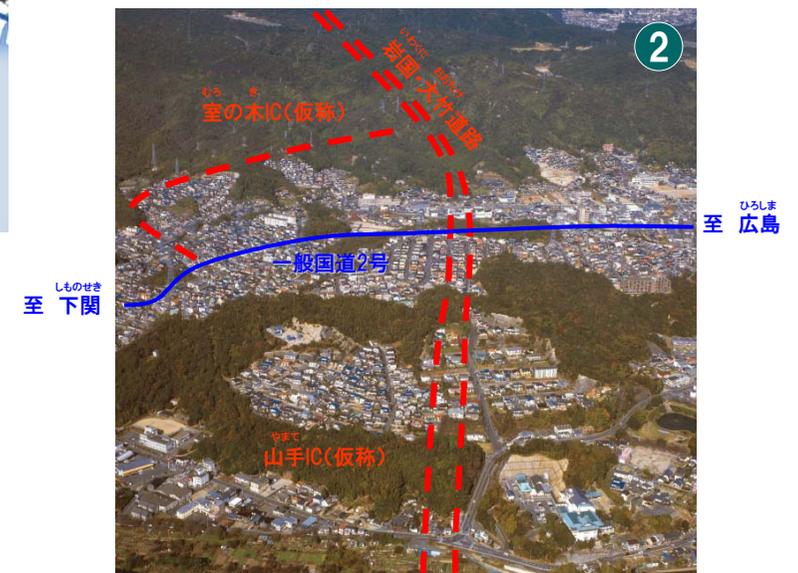
#### ●事業全体の進捗状況（平成21年度末現在）

用地	35%
工事	0%
全体	8%

※完成事業費に対する割合



【大竹市小方から大竹西IC(仮称)を望む】



【岩国市山手町から広島方面を望む】

### 3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道2号 岩国・大竹道路



#### 課題①: 国道2号で発生する渋滞

〈期待される道路の役割(効果)〉 ⇒ 損失時間の削減、環境負荷の低減

#### 課題②: 国道2号で多発する交通事故

〈期待される道路の役割(効果)〉 ⇒ 交通事故件数の削減

#### 課題③: 重症患者等の救急救命

〈期待される道路の役割(効果)〉 ⇒ 走行時間の短縮による、救急救命への寄与

#### 課題④: 岩国・広島間の観光振興

〈期待される道路の役割(効果)〉 ⇒ 観光周遊性の向上

#### 課題⑤: 物流の効率化の支援

〈期待される道路の役割(効果)〉 ⇒ 走行時間の短縮による、物流効率化の確保

#### 課題⑥: 空港へのアクセス支援

〈期待される道路の役割(効果)〉 ⇒ 走行時間の短縮による、空港へのアクセス向上

#### 課題⑦: 山陽自動車道等の通行止めによる国道2号の負荷

〈期待される道路の役割(効果)〉 ⇒ リダンダンシー機能の確保

# 3. 地域から期待される道路の役割(効果)

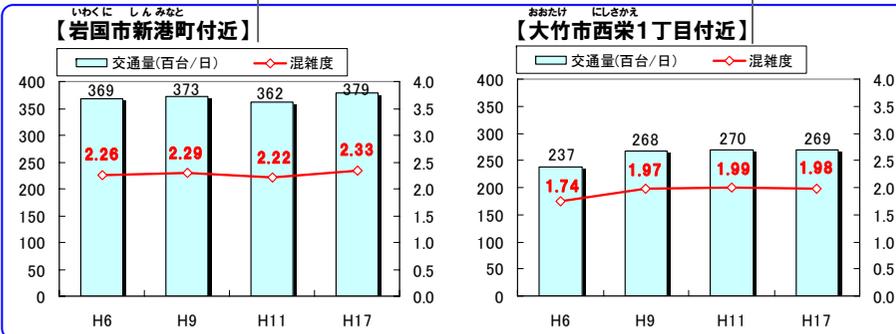
一般国道2号 岩国・大竹道路

## 課題① 国道2号で発生する渋滞

- ◆ 国道2号の交通量は、約30,000台/日前後で推移しており、混雑が慢性化している。
- ◆ 国道2号大竹市～岩国市間では主要渋滞ポイントが6か所存在し、最大2,750mの渋滞が発生。
- ◆ 上記区間では交差点密度が高く(直轄平均の約3倍)、速度低下の要因となっている。

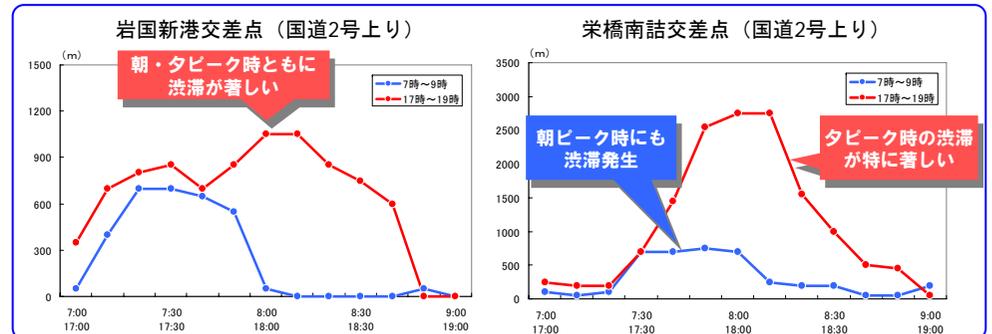


### ▼交通量の推移



資料/道路交通センサス。混雑度は、H17道路交通センサスの交通容量に基づき算出。

### ▼主要渋滞ポイントの渋滞状況(渋滞長)



調査日:平成21年2月19日(木) ただし、立石交差点は、平成22年9月22日(水)

# 3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道2号 岩国・大竹道路

## <期待される道路の役割①> 損失時間の削減、環境負荷の低減

◆ 岩国・大竹道路の整備により、損失時間の削減、沿道環境の改善が期待される。

### ▼期待される道路の役割(効果)

#### 損失時間の削減量



※各時点の交通量配分結果をもとに、交通量・旅行速度を用いて算出  
 ※損失時間量算定式:客観的評価指標の定量的評価指標の算出方法(案)

▼各排出量算出対象範囲(NOx, SPM, CO<sub>2</sub>)  
 ※各指標算出対象範囲は費用便益分析対象範囲と同じ

### ▼環境への影響を考慮した効果(試算した参考値)

▶ 削減されるCO<sub>2</sub>排出量:17.4(千トン/年)

▶ C(炭素)に換算した排出量:4.7(千トン/年)

▶ CO<sub>2</sub>の排出量削減による効果  
 $4.7(\text{千トン/年}) \times 10,600\text{円/トン} \cdot \text{C} = 0.50\text{億円/年}$

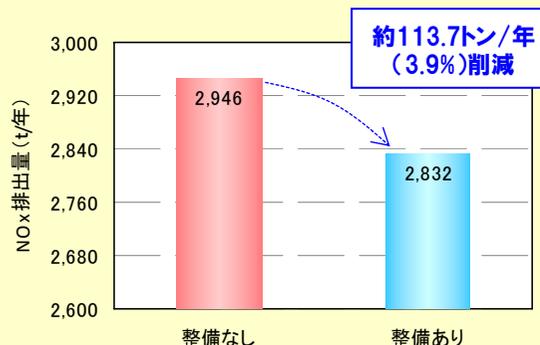
CO<sub>2</sub>貨幣価値原単位10,600円/トン・C  
 「公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針(共通編)平成20年6月 国土交通省」

▶ 50年の単純合計:22.3億円  
 ▶ 基準年における現在価値: 6.8億円※

※は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

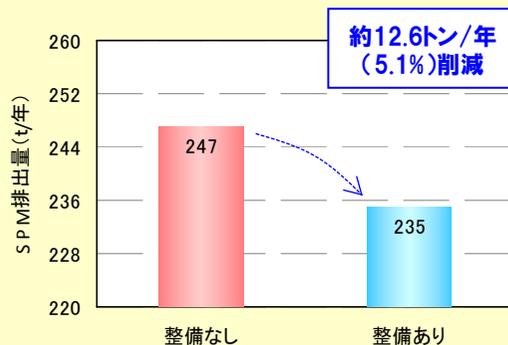
### ▼期待される道路の役割(効果)

#### NOx排出量

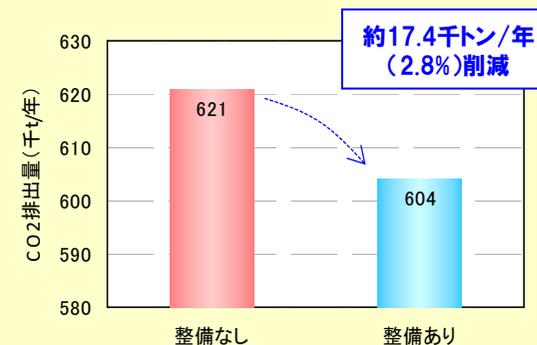


※各時点の交通量配分結果をもとに、交通量・旅行速度を用いて算出  
 ※各排出量算定式:客観的評価指標の定量的評価指標の算出方法(案)

#### SPM排出量



#### CO<sub>2</sub>排出量

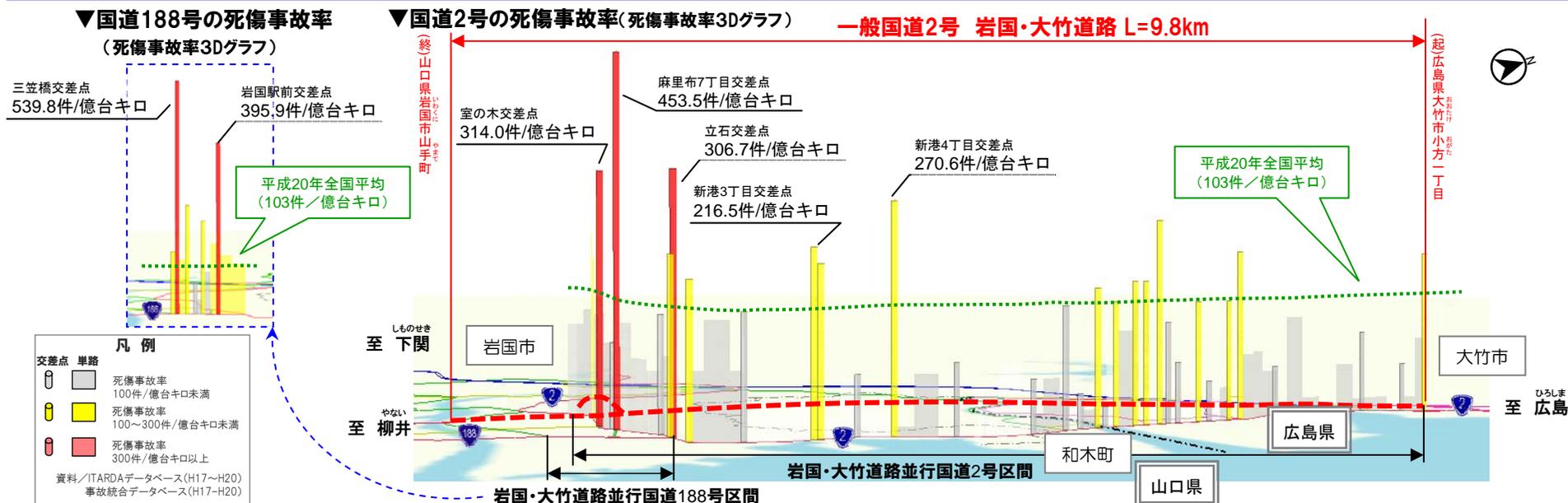


# 3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道2号 岩国・大竹道路

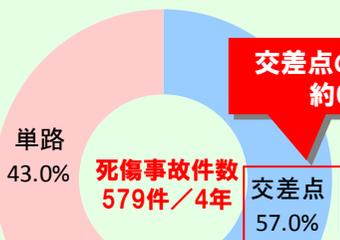
## 課題② 国道2号で多発する交通事故

- ◆ 岩国・大竹道路に並行する国道2号及び国道188号では、死傷事故率300件/億台キロを超える交差点が存在。
- ◆ 事故の形態では、交差点での発生割合が高く、渋滞に起因する追突事故の割合が全体の約5割を占める。
- ◆ 岩国・大竹道路の整備により、周辺地域における死傷事故件数の削減(約10%)が期待される。



### ▼岩国・大竹道路並行区間の死傷事故特性

#### 発生箇所



#### 事故類型



資料/H17~H20事故統合データベース ※広島県内(岩国・大竹道路並行区間)含む

### ▼期待される道路の役割(効果)

#### 死傷事故件数の削減量



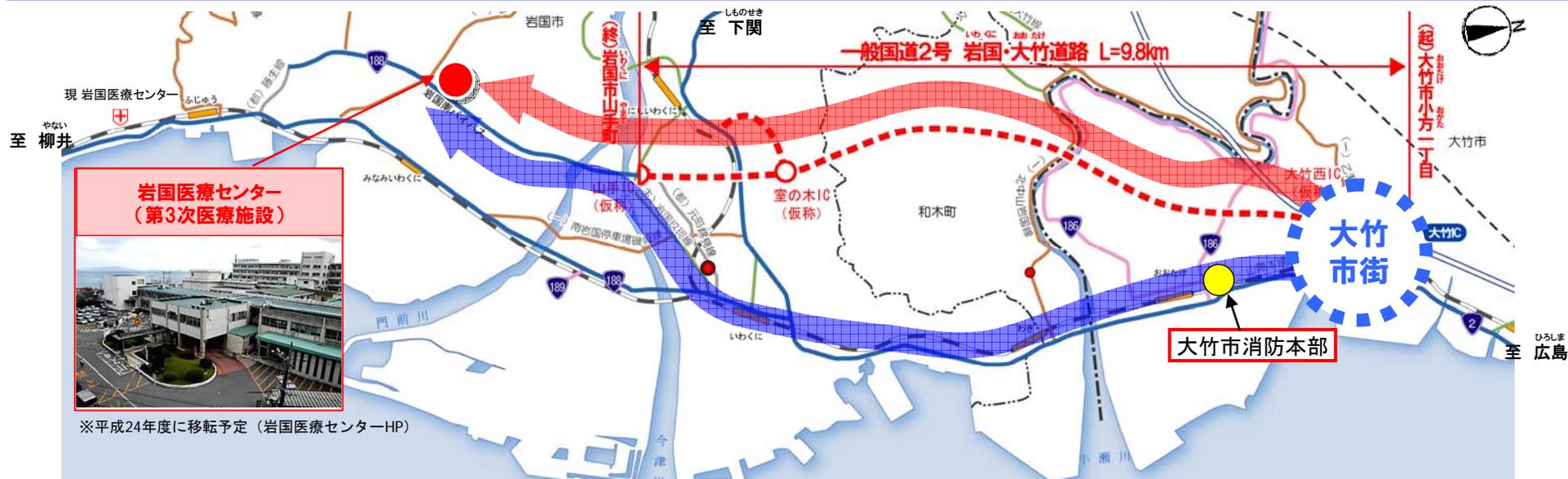
※各時点の交通量配分結果をもとに、交通量・旅行速度を用いて算出  
 ※人身事故件数算定式: 交通事故減少便益の原単位の算出方法(H20年11月 国土交通省)  
 ※死傷事故件数渋滞損失時間算出対象範囲は、費用便益分析対象範囲と同じ

# 3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道2号 岩国・大竹道路

## 課題③ 重症患者等の救急救命

- ◆ 大竹消防署管内では、岩国医療センターへ年間211件の搬送件数がある。
- ◆ 岩国・大竹道路の整備により、第3次医療施設(岩国医療センター)までのアクセス時間が短縮し、救命率の向上が期待される。



### ▼期待される道路の役割(効果)

### 第3次医療施設へのアクセス時間短縮

岩国医療センター

【供用前】国道2号・国道188号経由

約18分

【供用後】岩国・大竹道路経由

約4分短縮

約14分

大竹市街

※現況所要時間は規制速度  
 整備後所要時間は岩国・大竹道路V=70km/h(起点～室の木IC)、60km/h(室の木IC～山手IC)  
 岩国南バイパスをV=60km/hとして算出、市道は一律30km/hで設定

### ◆H21岩国医療センターへの搬送件数

救急搬送拠点	搬送人員(件/年)
大竹市消防本部	211

資料: 大竹市消防本部

### 現場の声

(大竹市消防本部)

岩国・大竹道路の整備により、病院までの搬送時間の短縮や現道のカーブ・凸凹区間が回避できるなど、患者の負担が軽減されます。

(岩国市消防本部)

岩国・大竹道路の整備により、現場までの時間や病院までの時間が短縮されるなど、患者の負担が軽減されます。  
 また、災害時には、国道2号及び国道188号の迂回路として重要です。

# 3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道2号 岩国・大竹道路

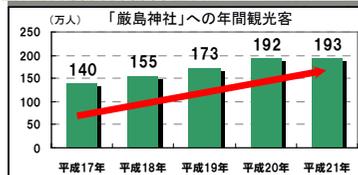
## 課題④ 岩国・広島間の観光振興

- ◆ 広島を来訪する観光客の21%が岩国に立ち寄りっており、広島・宮島・岩国で1つの観光圏を形成。
- ◆ 岩国・大竹道路の整備により、岩国～広島間のアクセス時間が短縮し、観光周遊性の向上が期待される。

### 世界文化遺産「宮島・厳島神社」



出典：広島県観光ホームページ

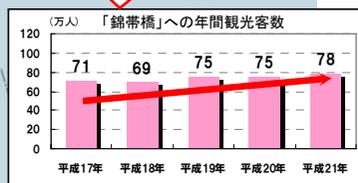


資料／広島県観光客数の動向

年間約200万人の来訪者  
過去5年で約1.4倍に増加



年間約80万人の来訪者  
があるものほぼ横ばい



資料／山口県観光客動態調査



出典：山口県観光ホームページ

### ▼広島・宮島・岩国地域観光圏整備計画

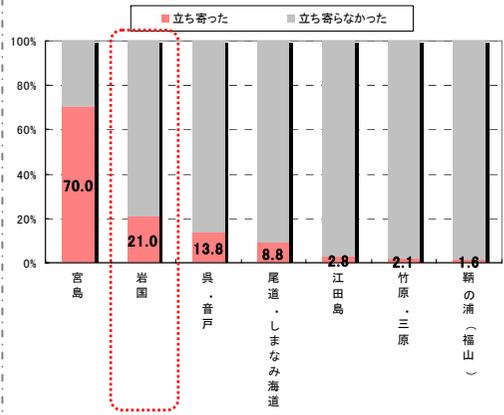


- 【目的】  
広島・宮島・岩国地域において、滞在型の国際協力のある観光地を目指すことを目的としている。
- 【観光圏整備事業】
- ◆ 宿泊の魅力の向上に関する事業
  - ◆ 観光コンテンツの充実に関する事業
  - ◆ 交通・移動の利便性向上に関する事業
  - ◆ 観光案内・観光情報の提供
  - ◆ その他

取組主体：広島・宮島・岩国地域観光圏推進協議会 (広島市、廿日市市、大竹市、岩国市、他3市5町)

### ▼広島市来訪者の立ち寄り施設

広島市への来訪者で、岩国まで足を伸ばす観光客は2割程度



資料／平成20年広島市来訪観光客アンケート調査結果

### ▼期待される道路の役割(効果) 岩国～宮島間の観光周遊性向上

錦帯橋(岩国)

【供用前】現国道2号経由(休日)

約49分

【供用後】岩国・大竹道路経由

約35分

約14分短縮

宮島

※現況所要時間はH17道路交通センサス混雑時旅行速度(休日)  
整備後所要時間は岩国・大竹道路V=70km/h(起点～室の木IC)、  
60km/h(室の木IC～山手IC)で設定

資料／平成17年度道路交通センサス

# 3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道2号 岩国・大竹道路

## 課題⑤ 物流の効率化の支援

- ◆ 岩国港をはじめとする臨海部には、化学・繊維などの多様な企業が集積。
- ◆ 岩国・大竹道路の整備により、ICへのアクセス性が向上し物流の効率化が期待されるとともに、岩国港などの地域産業の活性化が期待される。

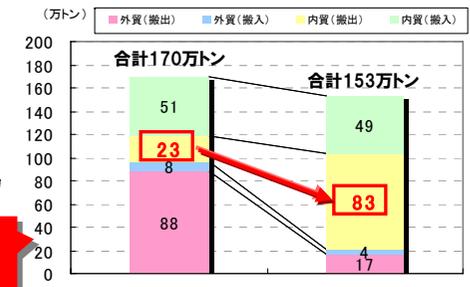


▼国道2号の渋滞状況

国道2号の渋滞は、円滑な貨物輸送を阻害している。



▼岩国港の取扱貨物量(1ヶ月あたり)の推移



全体では減少傾向。内貨(搬出)は約4倍に増加。

資料/港湾統計(陸上出入貨物調査)



国土交通省では、平成20年代前半の供用を目標に、バルク貨物の輸送船船の大型化に対応するため、「多目的国際ターミナル整備事業」を実施し、さらなる機能強化を図っている。

### ▼期待される道路の役割(効果) 岩国港～大竹IC間の時間短縮



※現況所要時間はH17道路交通センサス混雑時旅行速度 整備後所要時間は岩国・大竹道路V=70km/h(起点～室の木IC)

# 3. 地域から期待される道路の役割(効果)

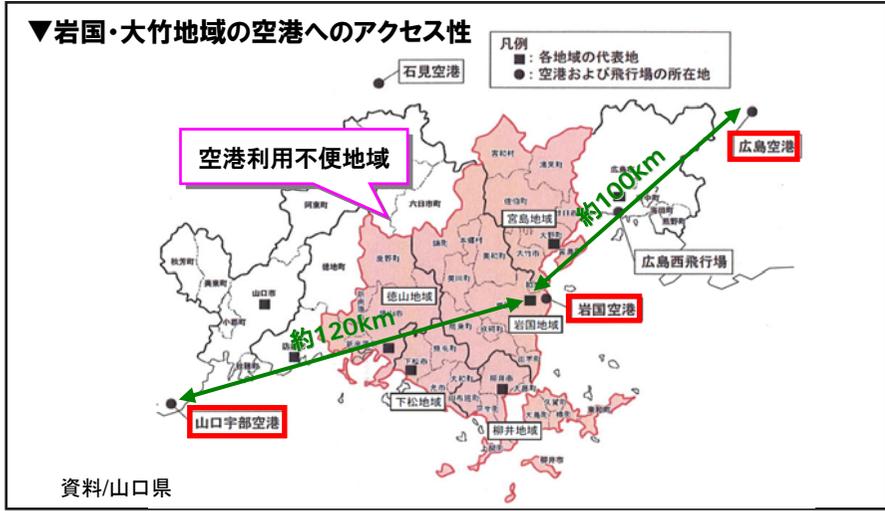
一般国道2号 岩国・大竹道路

## 課題⑥ 空港へのアクセス支援

- ◆ 平成24年度に、地域の空の玄関口となる岩国空港が開港予定。
- ◆ 岩国・大竹道路の整備により、岩国空港へのアクセス性が向上し、地域の利便性向上や産業振興などが期待される。



**【岩国空港の概要(予定)】**  
 供用開始予定：平成24年度  
 就航路線：岩国～羽田（4便/日）  
 就航会社：全日本空輸（ANA）  
**【期待される効果】**  
 ◆ 岩国から東京への移動時間が現況約5時間に対して、約3時間へ。  
 ◆ 山口県東部地域の産業振興  
 ◆ まちづくりの社会基盤 など  
 資料/広報いわくに平成22年6月1日号



**▼期待される道路の役割(効果)** 岩国空港～大竹間の時間短縮

岩国空港	【供用前】現国道2号経由	約45分	大竹市役所
	【供用後】岩国・大竹道路経由	約18分	

約27分短縮

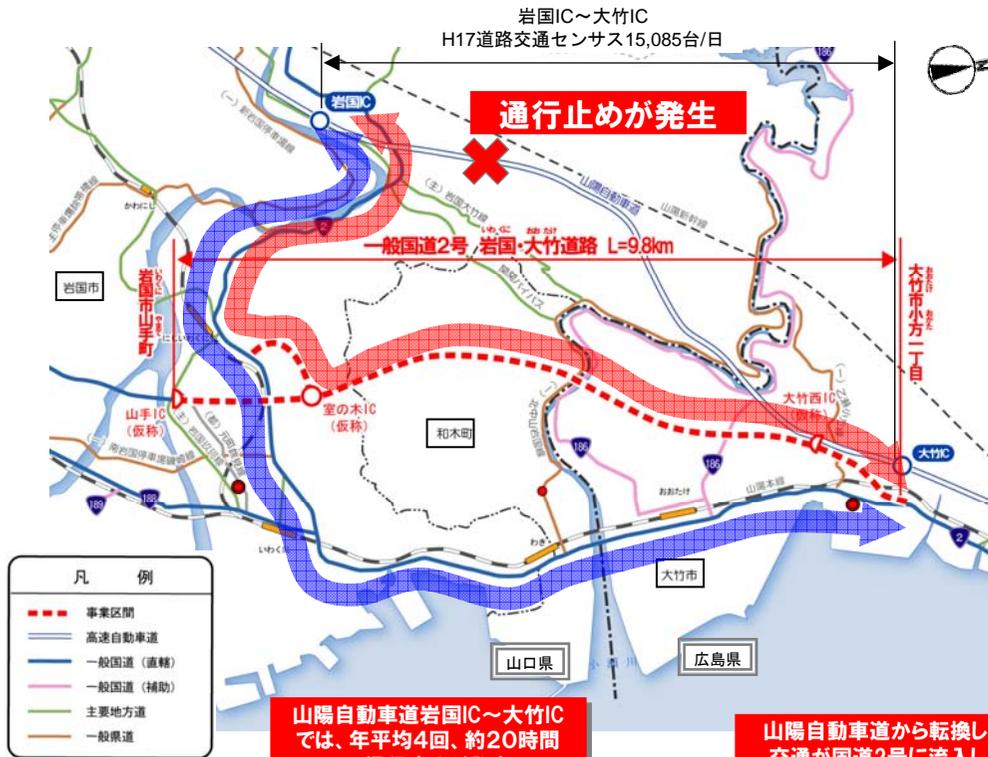
※現況所要時間はH17道路交通センサス混雑時旅行速度  
 整備後所要時間は岩国・大竹道路V=70km/h(起点～室の木IC)、  
 60km/h(室の木IC～山手IC)で設定。

# 3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道2号 岩国・大竹道路

## 課題⑦ 山陽自動車道等の通行止めによる国道2号への負荷

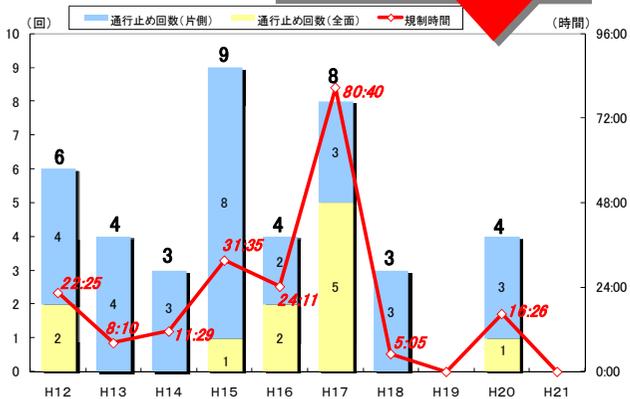
- ◆ 山陽自動車道(岩国IC~大竹IC)が通行止めになる場合、岩国市や大竹市の国道2号が迂回路として利用される。
- ◆ 岩国・大竹道路の整備により、山陽自動車道のリダンダンシー機能が確保される。



### 通行止めを考慮した効果(試算した参考値)

- 山陽自動車道(岩国IC~大竹IC)の通行止め日数  
0.83日/年 [H12~H21の10ヶ年の平均、全面・片方向通行止めの合計]
- 山陽自動車道(岩国IC~大竹IC)が通行止めとなった場合、岩国・大竹道路の整備により短縮される走行時間等を計測
- 通行止め時に発生する効果 0.04億円/年
- 50年間の単純合計 1.81億円
- 基準年における現在価値 0.56億円※

※は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)



#### ▼期待される道路の役割(効果) 岩国IC~大竹IC間の時間短縮

岩国IC	【供用前】現国道2号経由(平日)	約63分	大竹IC
	【供用後】岩国・大竹道路経由	約25分	

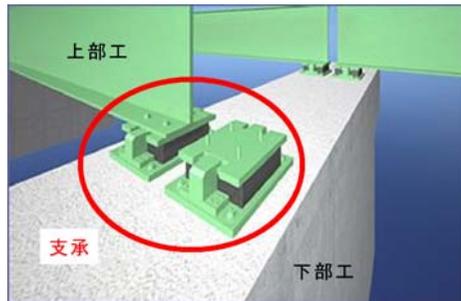
※現況所要時間はH17道路交通センサス混雑時旅行速度  
整備後所要時間は岩国・大竹道路V=70km/h(起点~室の木IC)

◆機能分離型支承を採用するなど、新工法の導入等によりコスト縮減を図っている。

## 機能分離型支承の採用

○支承構造を見直し、支承をコンパクト化することにより、コスト縮減を図る。

### ○支承とは？



上部工死荷重や活荷重等の鉛直力、地震や風等によって上部構造に働く水平力を確実に下部構造に伝達する。

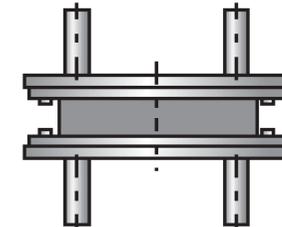
↓  
支承構造によって下部構造や基礎構造が決定される。

### 荷重支持板(鉛直力支持)



常時機能のみのため部材は必要最小限の大きさ

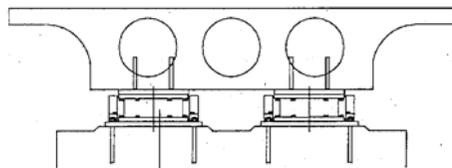
### ゴムパッファー(水平力支持)



地震時のみの機能のためゴムは必要最小限の大きさ

## 【機能分離型支承の採用】

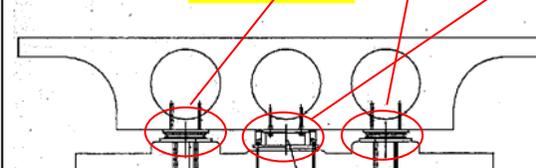
### 従来の分散支承



従来の分散型  
全機能が集中するため、支承が大型化する。

従来は、荷重伝達機能や変位追従機能の全てを単体の構造部に集中させていたため、支承の大型化によるコストが高い。

### 機能分離型支承



荷重支持板  
鉛直力支持  
ゴムパッファー  
水平力支持

それぞれの機能(常時機能と地震時機能)を分離させた機能分離型支承を採用。

①それぞれの構造体が比較的単純でコンパクトになりコストを低減。

②一部に損傷が生じても、その構造体だけの交換が可能であり、ライフサイクルコストが低減。

**5橋で約0.9億円のコスト縮減**

※5橋：小方高架橋、御園橋、小瀬川橋(上下線)、室の木高架橋

# 5. 事業の効果

◆地域からの要望等を踏まえ、道路の役割については、従来の3便益に加えて「地域から期待される道路の役割」等を整理。

## ▶ 3便益による費用便益比

(億円)

項目	全体事業	残事業
<b>費用 (C)</b>	1062	916
<b>事業費</b>	1040	894
<b>維持管理費</b>	22	22
<b>便益額 (B)</b>	1,250	1,250
<b>走行時間短縮便益</b>	987	987
<b>走行経費減少便益</b>	176	176
<b>交通事故減少便益</b>	86	86
<b>費用便益比</b>	<b>1.2</b>	<b>1.4</b>

便益計測対象項目	内容
走行時間短縮便益	道路整備により、周辺道路も含めた走行時間が短縮される効果を貨幣価値として計測する。
走行経費減少便益	道路整備によって混雑の緩和等走行条件が改善されることによる走行するために必要な費用の減少量として計測する。走行経費には燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両費、車両償却費等が含まれる。
交通事故減少便益	道路整備によって周辺道路の交通量が減少することに伴う交通事故による社会的損失の減少を貨幣価値として計測する。交通事故の社会的な損失には運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構造物に関する物的損害額、交通渋滞による損失額が含まれる。

## ▶ 道路の役割

### ▼道路の役割 (+α)

- ①環境への影響を考慮した効果 [約17千t/年のCO2削減] 【+6.8億円】※
- ②物流効率化の支援 [例] 岩国港～大竹IC間の所要時間短縮約25分]
- ③観光施設の支援[例] 宮島口から錦帯橋までの所要時間短縮約14分]
- ④アクセス性の向上 [例] 大竹市～岩国空港までの所要時間短縮27分]

※【 】は、供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）

	計画交通量	総事業費	総費用 (C)	3 便益 (B)	費用対効果 (B/C) ( ) 内は残事業B/C
参考① (3 便益)	19,500台/日～29,800台/日	1,330億円	1,062億円	1,250億円	1.2 (1.4)
参考② (その他の道路の役割を考慮)	19,500台/日～29,800台/日	1,330億円	1,062億円	1,250億円 + α	—

# 6. 今後の対応方針(原案)

## 1. 再評価の視点

### ①事業の必要性の視点

#### 1) 事業を巡る社会情勢等の変化

- ◇交通需要の増加や工業地帯の形成に伴い、慢性的な渋滞が発生しており、交通事故が多発している。
- ◇平成24年度に岩国空港が運行開始となり、岩国・大竹道路の整備により空港へのアクセス性が向上し、地域の利便性向上や産業振興などが期待される。

#### 2) 事業の効果

- ◇費用便益比(B/C)= 1.2 (事業全体) 1.4(残事業)
- ①環境への影響を考慮した効果 [約17千t/年のCO2削減] 【+6.8億円】※
- ②物流効率化の支援 [例) 岩国港～大竹IC間の所要時間短縮約25分]
- ③観光施設の支援[例) 宮島口から錦帯橋までの所要時間短縮約14分]
- ④アクセス性の向上 [例) 大竹市～岩国空港までの所要時間短縮27分]

※【 】は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

#### 3) 事業の進捗状況

- ◇平成21年度末で用地買収については35%完了し、事業全体の進捗率は8%である。

### ②事業の進捗見込み

- ◇現在は、調査設計、用地買収を行っており、早期供用を目指し、事業を推進する。

### ③コスト縮減や代替案立案の可能性

- ◇機能分離型支承等の採用により、コスト縮減を図っている。

## 2. 県への意見照会結果

- 【広島県】一般国道2号岩国・大竹道路について、対応方針(原案)案については異存はありません。岩国・大竹道路については、国道2号の慢性的な交通渋滞の緩和や、広島県西部と山口県東部の連携機能を向上するために、整備の必要があると考えます。今後も引き続きコストの縮減に努めながら、計画的に整備を進めていただきたい。
- 【山口県】本事業の実施により、現国道2号の渋滞緩和や交通事故の減少等が見込まれるとともに、岩国基地民間空港などの広域交通拠点へのアクセス性の向上や岩国地域と大竹地域の連携強化が期待される。今後も、引き続き、地域の合意形成を図りながら、コスト縮減等に配慮の上、計画的に事業を進めていただきたい。

### 【今後の対応方針(原案)】

- ◇上記①、②の各視点により、以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、今後とも**事業継続が妥当**。
- ◇今後の事業の実施にあたっては、更なるコスト縮減に努力しつつ、効率的で効果的な事業を継続する。

◆前回評価時との比較

	新規評価時 (平成11年度)	今回評価時 (平成22年度)	備考 (前回評価時からの変更点)
事業諸元	L=9.8km	L=9.8km	—
計画交通量	—	19,500台/日 ~29,800台/日	—
総事業費	—	約1,330億円	—
総費用 (C)	—	1,062億円	—
総便益 (B)	—	1,250億円	—
費用対効果 (B/C)	2.2	1.2	—

※費用/便益は基準年における現在価値の値

一般国道2号 岩国・大竹道路  
〔費用便益比（B／C）算定等資料〕

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道2号 岩国・大竹道路
事業主体	中国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比(B/C)=1.2 (経済的純現在価値(B-C)=188億円、経済的内部収益率(EIRR)=4.8%) 残事業：費用便益比(B/C)=1.4 (経済的純現在価値(B-C)=334億円、経済的内部収益率(EIRR)=5.6%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失削減時間：約1,570千人・時間/年(8,957千人・時間/年⇒7,387千人・時間/年) 渋滞損失削減率：約18%削減
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	対象区間(岩国市装束町5丁目～麻里布町1丁目)、改善見込み(旅行速度5.2km/h⇒24.4km/h)等
		<input type="checkbox"/> 現道又は並行区間における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上かつ踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	岩国市内の路線バスの所要時間が短縮され利便性が向上
		<input checked="" type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	新岩国駅、改善見込み(大竹市～新岩国駅、65分⇒27分)
		<input checked="" type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	岩国空港、改善見込み(大竹市～岩国空港、45分⇒18分)
	物流効率化の支援	<input checked="" type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	岩国港、改善見込み(大竹10～岩国港(室の木地区)、47分⇒22分)
		<input type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
		<input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		<input checked="" type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	山口県広域道路整備基本計画、広域道路(交流促進型)
		<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である			
<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である			
<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する			
	<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる		

1. 活力	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	岩国・大竹道路として位置づけ
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	岩国市～廿日市市を最短時間で連絡する
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	岩国市、改善見込み（岩国市～大竹市、44分⇒13分）
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	広島・宮島・岩国地域観光圏整備計画
		<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	錦帯橋（H21年間観光客数78万人）
<input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である			
<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である			
<input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である			
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上に該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
安全で安心できるくらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	岩国医療センター、アクセス向上が見込まれる自治体：大竹市・岩国市（大竹市～岩国医療センター、18分→14分）	
3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量が100人/日以上（当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	

3. 安全	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	山口県地域防災計画、緊急輸送道路
		<input type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
		<input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：17.4千t/年、排出削減率：2.8%削減（整備なし：621.8千t/年、整備あり：604.4千t/年）
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（現況） 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：無し （推計結果） 評価対象区間：便益算出対象範囲 排出削減量：113.7t/年、排出削減率：3.9%削減
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（現況） 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：無し （推計結果） 評価対象区間：便益算出対象範囲 排出削減量：12.6t/年、排出削減率：5.1%削減
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
	<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される		
5. その他	他のプロジェクトとの関係	■ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	道路の整備に関するプログラム、山口県、広域交流を進める道づくり（空港・新幹線駅、港湾など広域交流拠点へのアクセス性を高める）
		<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拓・BP・その他の別
一般国道2号	岩国・大竹道路	L=9.8km	地域高規格	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
19,500~29,800	4	中国地方整備局

## ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成22年度		
単純合計	1,278億円	75億円	1,353億円
うち残事業分	1,142億円	75億円	1,217億円
基準年における 現在価値 (C)	1,040億円	22億円	1,062億円
うち残事業分	894億円	22億円	916億円

## ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成22年度			
供用年	平成33年度			
単年便益 (初年便益)	71億円	13億円	6.5億円	90億円
基準年における 現在価値 (B)	987億円	176億円	86億円	1,250億円
うち残事業分	987億円	176億円	86億円	1,250億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.2
経済的純現在価値（事業全体）	188億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.8%
費用便益比（残事業）	1.4
経済的純現在価値（残事業）	334億円
経済的内部収益率（残事業）	5.6%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	19,500~29,800	±10%	1.1~1.7
事業費	1,142億円	±10%	1.2~1.5
事業期間	10年	±20%	1.3~1.5

# 交通状況の変化

様式－3①

## 事業名：岩国・大竹道路（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 【9.8km】	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	—	28,000	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	—	9	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	—	47.90	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	現道（国 道2号 他） 【8.1km】	交通量	[台/日]	22,300	11,500
		走行時間	[分]	18	16
		走行時間費用	[億円/年]	77.60	30.85
	（主）岩 国大竹線 【9.5km】	交通量	[台/日]	11,200	8,000
		走行時間	[分]	14	13
		走行時間費用	[億円/年]	31.27	18.40
	（主）岩 国玖珂線 【10.3km】	交通量	[台/日]	27,900	27,000
		走行時間	[分]	16	16
		走行時間費用	[億円/年]	88.75	85.21
	国道2号 ② 【2.7km】	交通量	[台/日]	16,100	8,900
		走行時間	[分]	7	7
		走行時間費用	[億円/年]	22.36	9.83
	国道2号 ③他 【3.3km】	交通量	[台/日]	16,100	10,400
		走行時間	[分]	7	6
		走行時間費用	[億円/年]	18.08	9.66
③その他道路合計 【510.4km】	走行時間費用	[億円/年]	875.91	842.00	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 【554.1km】	走行時間短縮便益	[億円/年]	1,113.97	1,043.85	70.12

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



# 交通状況の変化

様式-3①

## 事業名：岩国・大竹道路（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 【9.8km】	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	—	28,000	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	—	9	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	—	47.90	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	現道（国 道2号 他） 【8.1km】	交通量	[台/日]	22,300	11,500
		走行時間	[分]	18	16
		走行時間費用	[億円/年]	77.60	30.85
	（主）岩 国大竹線 【9.5km】	交通量	[台/日]	11,200	8,000
		走行時間	[分]	14	13
		走行時間費用	[億円/年]	31.27	18.40
	（主）岩 国玖珂線 【10.3km】	交通量	[台/日]	27,900	27,000
		走行時間	[分]	16	16
		走行時間費用	[億円/年]	88.75	85.21
	国道2号 ② 【2.7km】	交通量	[台/日]	16,100	8,900
		走行時間	[分]	7	7
		走行時間費用	[億円/年]	22.36	9.83
	国道2号 ③他 【3.3km】	交通量	[台/日]	16,100	10,400
		走行時間	[分]	7	6
		走行時間費用	[億円/年]	18.08	9.66
③その他道路合計 【510.4km】	走行時間費用	[億円/年]	875.91	842.00	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 【554.1km】	走行時間短縮便益	[億円/年]	1,113.97	1,043.85	70.12

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



# 費用便益分析の条件

事業名：岩国・大竹道路

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	H22年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42年)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他( )	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ( )台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他( )
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	その他(最終配分交通量とQV式との関係から平均速度を設定)	<input checked="" type="checkbox"/>

交通流推計

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		( ) %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				



## 費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:岩国・大竹道路(事業全体)

年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
				0.16		9.8	1.57
-22年目	H 11	1.5395	101.3	0.29	0.40		
-21年目	H 12	1.4802	99.7	2.00	2.71		
-20年目	H 13	1.4233	98.4	1.81	2.39		
-19年目	H 14	1.3686	96.6	3.90	5.04		
-18年目	H 15	1.3159	95.4	2.79	3.51		
-17年目	H 16	1.2653	94.4	2.73	3.34		
-16年目	H 17	1.2167	93.2	7.64	9.11		
-15年目	H 18	1.1699	92.5	21.78	25.15		
-14年目	H 19	1.1249	91.7	34.03	38.11		
-13年目	H 20	1.0816	91.3	20.22	21.87		
-12年目	H 21	1.0400	91.3	15.42	16.04		
-11年目	H 22	1.0000	91.3	23.58	23.58		
-10年目	H 23	0.9615	91.3	15.53	14.93		
-9年目	H 24	0.9246	91.3	80.00	73.97		
-8年目	H 25	0.8890	91.3	110.00	97.79		
-7年目	H 26	0.8548	91.3	125.00	106.85		
-6年目	H 27	0.8219	91.3	130.00	106.85		
-5年目	H 28	0.7903	91.3	140.00	110.64		
-4年目	H 29	0.7599	91.3	140.00	106.39		
-3年目	H 30	0.7307	91.3	140.00	102.30		
-2年目	H 31	0.7026	91.3	140.00	98.36		
-1年目	H 32	0.6756	91.3	121.76	82.26		
供用開始年次	H 33	0.6496	91.3			1.49	0.97
1年目	H 34	0.6246	91.3			1.49	0.93
2年目	H 35	0.6006	91.3			1.49	0.90
3年目	H 36	0.5775	91.3			1.49	0.86
4年目	H 37	0.5553	91.3			1.49	0.83
5年目	H 38	0.5339	91.3			1.49	0.80
6年目	H 39	0.5134	91.3			1.49	0.77
7年目	H 40	0.4936	91.3			1.49	0.74
8年目	H 41	0.4746	91.3			1.49	0.71
9年目	H 42	0.4564	91.3			1.49	0.68
10年目	H 43	0.4388	91.3			1.49	0.66
11年目	H 44	0.4220	91.3			1.49	0.63
12年目	H 45	0.4057	91.3			1.49	0.61
13年目	H 46	0.3901	91.3			1.49	0.58
14年目	H 47	0.3751	91.3			1.49	0.56
15年目	H 48	0.3607	91.3			1.49	0.54
16年目	H 49	0.3468	91.3			1.49	0.52
17年目	H 50	0.3335	91.3			1.49	0.50
18年目	H 51	0.3207	91.3			1.49	0.48
19年目	H 52	0.3083	91.3			1.49	0.46
20年目	H 53	0.2965	91.3			1.49	0.44
21年目	H 54	0.2851	91.3			1.49	0.43
22年目	H 55	0.2741	91.3			1.49	0.41
23年目	H 56	0.2636	91.3			1.49	0.39
24年目	H 57	0.2534	91.3			1.49	0.38
25年目	H 58	0.2437	91.3			1.49	0.36
26年目	H 59	0.2343	91.3			1.49	0.35
27年目	H 60	0.2253	91.3			1.49	0.34
28年目	H 61	0.2166	91.3			1.49	0.32
29年目	H 62	0.2083	91.3			1.49	0.31
30年目	H 63	0.2003	91.3			1.49	0.30
31年目	H 64	0.1926	91.3			1.49	0.29
32年目	H 65	0.1852	91.3			1.49	0.28
33年目	H 66	0.1780	91.3			1.49	0.27
34年目	H 67	0.1712	91.3			1.49	0.26
35年目	H 68	0.1646	91.3			1.49	0.25
36年目	H 69	0.1583	91.3			1.49	0.24
37年目	H 70	0.1522	91.3			1.49	0.23
38年目	H 71	0.1463	91.3			1.49	0.22
39年目	H 72	0.1407	91.3			1.49	0.21
40年目	H 73	0.1353	91.3			1.49	0.20
41年目	H 74	0.1301	91.3			1.49	0.19
42年目	H 75	0.1251	91.3			1.49	0.19
43年目	H 76	0.1203	91.3			1.49	0.18
44年目	H 77	0.1157	91.3			1.49	0.17
45年目	H 78	0.1112	91.3			1.49	0.17
46年目	H 79	0.1069	91.3			1.49	0.16
47年目	H 80	0.1028	91.3			1.49	0.15
48年目	H 81	0.0989	91.3			1.49	0.15
49年目	H 82	0.0951	91.3	-119.77	-11.39	1.49	0.14
合計				1,158.71	1,040.21	74.67	21.67
単純事業費計				1,278.48		74.67	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 岩国・大竹道路(残事業)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
				0.16		9.8	1.57
-10年目	H 23	0.9615	91.3	15.53	14.93		
-9年目	H 24	0.9246	91.3	80.00	73.97		
-8年目	H 25	0.8890	91.3	110.00	97.79		
-7年目	H 26	0.8548	91.3	125.00	106.85		
-6年目	H 27	0.8219	91.3	130.00	106.85		
-5年目	H 28	0.7903	91.3	140.00	110.64		
-4年目	H 29	0.7599	91.3	140.00	106.39		
-3年目	H 30	0.7307	91.3	140.00	102.30		
-2年目	H 31	0.7026	91.3	140.00	98.36		
-1年目	H 32	0.6756	91.3	121.76	82.26		
供用開始年次	H 33	0.6496	91.3			1.49	0.97
1年目	H 34	0.6246	91.3			1.49	0.93
2年目	H 35	0.6006	91.3			1.49	0.90
3年目	H 36	0.5775	91.3			1.49	0.86
4年目	H 37	0.5553	91.3			1.49	0.83
5年目	H 38	0.5339	91.3			1.49	0.80
6年目	H 39	0.5134	91.3			1.49	0.77
7年目	H 40	0.4936	91.3			1.49	0.74
8年目	H 41	0.4746	91.3			1.49	0.71
9年目	H 42	0.4564	91.3			1.49	0.68
10年目	H 43	0.4388	91.3			1.49	0.66
11年目	H 44	0.4220	91.3			1.49	0.63
12年目	H 45	0.4057	91.3			1.49	0.61
13年目	H 46	0.3901	91.3			1.49	0.58
14年目	H 47	0.3751	91.3			1.49	0.56
15年目	H 48	0.3607	91.3			1.49	0.54
16年目	H 49	0.3468	91.3			1.49	0.52
17年目	H 50	0.3335	91.3			1.49	0.50
18年目	H 51	0.3207	91.3			1.49	0.48
19年目	H 52	0.3083	91.3			1.49	0.46
20年目	H 53	0.2965	91.3			1.49	0.44
21年目	H 54	0.2851	91.3			1.49	0.43
22年目	H 55	0.2741	91.3			1.49	0.41
23年目	H 56	0.2636	91.3			1.49	0.39
24年目	H 57	0.2534	91.3			1.49	0.38
25年目	H 58	0.2437	91.3			1.49	0.36
26年目	H 59	0.2343	91.3			1.49	0.35
27年目	H 60	0.2253	91.3			1.49	0.34
28年目	H 61	0.2166	91.3			1.49	0.32
29年目	H 62	0.2083	91.3			1.49	0.31
30年目	H 63	0.2003	91.3			1.49	0.30
31年目	H 64	0.1926	91.3			1.49	0.29
32年目	H 65	0.1852	91.3			1.49	0.28
33年目	H 66	0.1780	91.3			1.49	0.27
34年目	H 67	0.1712	91.3			1.49	0.26
35年目	H 68	0.1646	91.3			1.49	0.25
36年目	H 69	0.1583	91.3			1.49	0.24
37年目	H 70	0.1522	91.3			1.49	0.23
38年目	H 71	0.1463	91.3			1.49	0.22
39年目	H 72	0.1407	91.3			1.49	0.21
40年目	H 73	0.1353	91.3			1.49	0.20
41年目	H 74	0.1301	91.3			1.49	0.19
42年目	H 75	0.1251	91.3			1.49	0.19
43年目	H 76	0.1203	91.3			1.49	0.18
44年目	H 77	0.1157	91.3			1.49	0.17
45年目	H 78	0.1112	91.3			1.49	0.17
46年目	H 79	0.1069	91.3			1.49	0.16
47年目	H 80	0.1028	91.3			1.49	0.15
48年目	H 81	0.0989	91.3			1.49	0.15
49年目	H 82	0.0951	91.3	-65.32	-6.21	1.49	0.14
合計				1,076.97	894.13	74.67	21.67
単純事業費計				1,142.29		74.67	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 便益の現在価値算定表

箇所名: 岩国・大竹道路(事業全体)

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (山陽ブロック)			割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)		合計 (億円)		
		乗用車類	貨物車類	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 22	0.99742	0.99874	0.99785	0.6496	91.3	19.33	5.01	46.81	71.15	46.22	3.25	0.47	8.97	12.70	8.25	6.46	4.19	90.30	58.66
1年目	H 34	0.99742	0.99874	0.99784	0.6246	91.3	19.28	5.00	46.75	71.04	44.37	3.25	0.47	8.96	12.68	7.92	6.44	4.02	90.15	56.31
2年目	H 35	0.99741	0.99874	0.99784	0.6006	91.3	19.23	5.00	46.69	70.92	42.60	3.24	0.47	8.95	12.66	7.60	6.43	3.86	90.00	54.06
3年目	H 36	0.99740	0.99874	0.99783	0.5775	91.3	19.18	4.99	46.63	70.81	40.89	3.23	0.47	8.94	12.63	7.30	6.41	3.70	89.86	51.89
4年目	H 37	0.99740	0.99874	0.99783	0.5553	91.3	19.13	4.99	46.57	70.69	39.26	3.22	0.46	8.93	12.61	7.00	6.40	3.55	89.71	49.81
5年目	H 38	0.99739	0.99873	0.99782	0.5339	91.3	19.08	4.98	46.51	70.58	37.68	3.21	0.46	8.92	12.59	6.72	6.39	3.41	89.56	47.81
6年目	H 39	0.99738	0.99873	0.99782	0.5134	91.3	19.03	4.97	46.45	70.46	36.17	3.20	0.46	8.91	12.57	6.46	6.37	3.27	89.41	45.90
7年目	H 40	0.99738	0.99873	0.99781	0.4936	91.3	18.98	4.97	46.39	70.35	34.72	3.19	0.46	8.90	12.55	6.20	6.36	3.14	89.26	44.06
8年目	H 41	0.99737	0.99873	0.99781	0.4746	91.3	18.93	4.96	46.34	70.23	33.33	3.19	0.46	8.88	12.53	5.95	6.34	3.01	89.11	42.29
9年目	H 42	0.99736	0.99873	0.99780	0.4564	91.3	18.89	4.95	46.28	70.12	32.00	3.18	0.46	8.87	12.51	5.71	6.33	2.89	88.96	40.60
10年目	H 43	0.98994	0.99905	0.99288	0.4388	91.3	18.70	4.95	46.23	69.88	30.66	3.15	0.46	8.86	12.47	5.47	6.28	2.76	88.63	38.89
11年目	H 44	0.98984	0.99905	0.99283	0.4220	91.3	18.51	4.94	46.19	69.64	29.39	3.11	0.46	8.86	12.43	5.25	6.24	2.63	88.31	37.27
12年目	H 45	0.98973	0.99905	0.99278	0.4057	91.3	18.32	4.94	46.15	69.40	28.16	3.08	0.46	8.85	12.39	5.03	6.19	2.51	87.99	35.70
13年目	H 46	0.98963	0.99905	0.99273	0.3901	91.3	18.13	4.94	46.10	69.16	26.98	3.05	0.46	8.84	12.35	4.82	6.15	2.40	87.66	34.20
14年目	H 47	0.98952	0.99905	0.99267	0.3751	91.3	17.94	4.93	46.06	68.92	25.85	3.02	0.46	8.83	12.31	4.62	6.10	2.29	87.34	32.76
15年目	H 48	0.98941	0.99905	0.99262	0.3607	91.3	17.75	4.93	46.01	68.68	24.77	2.99	0.46	8.82	12.27	4.43	6.06	2.19	87.01	31.39
16年目	H 49	0.98929	0.99904	0.99256	0.3468	91.3	17.56	4.92	45.97	68.45	23.74	2.95	0.46	8.81	12.23	4.24	6.01	2.09	86.69	30.06
17年目	H 50	0.98918	0.99904	0.99251	0.3335	91.3	17.37	4.92	45.93	68.21	22.75	2.92	0.46	8.81	12.19	4.06	5.97	1.99	86.36	28.80
18年目	H 51	0.98906	0.99904	0.99245	0.3207	91.3	17.18	4.91	45.88	67.97	21.80	2.89	0.46	8.80	12.15	3.90	5.92	1.90	86.04	27.59
19年目	H 52	0.98894	0.99904	0.99239	0.3083	91.3	16.99	4.91	45.84	67.73	20.88	2.86	0.46	8.79	12.10	3.73	5.88	1.81	85.71	26.43
20年目	H 53	0.98881	0.99904	0.99234	0.2965	91.3	16.80	4.90	45.79	67.49	20.01	2.83	0.46	8.78	12.06	3.58	5.83	1.73	85.39	25.32
21年目	H 54	0.98869	0.99904	0.99228	0.2851	91.3	16.61	4.90	45.75	67.25	19.17	2.79	0.46	8.77	12.02	3.43	5.79	1.65	85.06	24.25
22年目	H 55	0.98856	0.99904	0.99222	0.2741	91.3	16.42	4.89	45.71	67.01	18.37	2.76	0.46	8.76	11.98	3.28	5.74	1.57	84.74	23.23
23年目	H 56	0.98842	0.99904	0.99216	0.2636	91.3	16.23	4.89	45.66	66.77	17.60	2.73	0.46	8.76	11.94	3.15	5.70	1.50	84.42	22.25
24年目	H 57	0.98829	0.99904	0.99209	0.2534	91.3	16.04	4.88	45.62	66.54	16.86	2.70	0.46	8.75	11.90	3.02	5.65	1.43	84.09	21.31
25年目	H 58	0.98815	0.99904	0.99203	0.2437	91.3	15.85	4.88	45.57	66.30	16.16	2.67	0.45	8.74	11.86	2.89	5.61	1.37	83.77	20.41
26年目	H 59	0.98801	0.99904	0.99197	0.2343	91.3	15.66	4.87	45.53	66.06	15.48	2.63	0.45	8.73	11.82	2.77	5.56	1.30	83.44	19.55
27年目	H 60	0.98786	0.99903	0.99190	0.2253	91.3	15.47	4.87	45.49	65.82	14.83	2.60	0.45	8.72	11.78	2.65	5.52	1.24	83.12	18.73
28年目	H 61	0.98771	0.99903	0.99184	0.2166	91.3	15.28	4.86	45.44	65.58	14.20	2.57	0.45	8.71	11.74	2.54	5.47	1.19	82.79	17.93
29年目	H 62	0.98756	0.99903	0.99177	0.2083	91.3	15.09	4.86	45.40	65.34	13.61	2.54	0.45	8.70	11.70	2.44	5.43	1.13	82.47	17.18
30年目	H 63	0.98740	0.99903	0.99170	0.2003	91.3	14.90	4.86	45.35	65.10	13.04	2.51	0.45	8.70	11.66	2.33	5.38	1.08	82.14	16.45
31年目	H 64	0.98724	0.99903	0.99163	0.1926	91.3	14.71	4.85	45.31	64.87	12.49	2.47	0.45	8.69	11.61	2.24	5.34	1.03	81.82	15.76
32年目	H 65	0.98708	0.99903	0.99156	0.1852	91.3	14.52	4.85	45.27	64.63	11.97	2.44	0.45	8.68	11.57	2.14	5.29	0.98	81.49	15.09
33年目	H 66	0.98691	0.99903	0.99149	0.1780	91.3	14.32	4.84	45.22	64.39	11.46	2.41	0.45	8.67	11.53	2.05	5.25	0.93	81.17	14.45
34年目	H 67	0.98673	0.99903	0.99142	0.1712	91.3	14.13	4.84	45.18	64.15	10.98	2.38	0.45	8.66	11.49	1.97	5.20	0.89	80.85	13.84
35年目	H 68	0.98656	0.99903	0.99134	0.1646	91.3	13.94	4.83	45.13	63.91	10.52	2.35	0.45	8.65	11.45	1.88	5.16	0.85	80.52	13.25
36年目	H 69	0.98637	0.99903	0.99127	0.1583	91.3	13.75	4.83	45.09	63.67	10.08	2.31	0.45	8.65	11.41	1.81	5.11	0.81	80.20	12.70
37年目	H 70	0.98619	0.99903	0.99119	0.1522	91.3	13.56	4.82	45.05	63.43	9.65	2.28	0.45	8.64	11.37	1.73	5.07	0.77	79.87	12.16
38年目	H 71	0.98599	0.99902	0.99111	0.1463	91.3	13.37	4.82	45.00	63.19	9.25	2.25	0.45	8.63	11.33	1.66	5.02	0.73	79.55	11.64
39年目	H 72	0.98579	0.99902	0.99103	0.1407	91.3	13.18	4.81	44.96	62.96	8.86	2.22	0.45	8.62	11.29	1.59	4.98	0.70	79.22	11.15
40年目	H 73	0.98559	0.99902	0.99095	0.1353	91.3	12.99	4.81	44.91	62.72	8.49	2.19	0.45	8.61	11.25	1.52	4.93	0.67	78.90	10.67
41年目	H 74	0.98538	0.99902	0.99087	0.1301	91.3	12.80	4.80	44.87	62.48	8.13	2.15	0.45	8.60	11.21	1.46	4.89	0.64	78.57	10.22
42年目	H 75	0.98516	0.99902	0.99078	0.1251	91.3	12.61	4.80	44.83	62.24	7.79	2.12	0.45	8.59	11.17	1.40	4.84	0.61	78.25	9.79
43年目	H 76	0.98494	0.99902	0.99070	0.1203	91.3	12.42	4.79	44.78	62.00	7.46	2.09	0.45	8.59	11.12	1.34	4.80	0.58	77.92	9.37
44年目	H 77	0.98471	0.99902	0.99061	0.1157	91.3	12.23	4.79	44.74	61.76	7.15	2.06	0.45	8.58	11.08	1.28	4.75	0.55	77.60	8.98
45年目	H 78	0.98447	0.99902	0.99052	0.1112	91.3	12.04	4.78	44.69	61.52	6.84	2.03	0.45	8.57	11.04	1.23	4.71	0.52	77.27	8.59
46年目	H 79	0.98422	0.99902	0.99043	0.1069	91.3	11.85	4.78	44.65	61.29	6.55	1.99	0.45	8.56	11.00	1.18	4.66	0.50	76.95	8.23
47年目	H 80	0.98397	0.99902	0.99034	0.1028	91.3	11.66	4.78	44.61	61.05	6.28	1.96	0.45	8.55	10.96	1.13	4.62	0.47	76.63	7.88
48年目	H 81	0.98371	0.99901	0.99024	0.0989	91.3	11.47	4.77	44.56	60.81	6.01	1.93	0.44	8.54	10.92	1.08	4.57	0.45	76.30	7.55
49年目	H 82	0.98344	0.99901	0.99015	0.0951	91.3	11.28	4.77	44.52	60.57	5.76	1.90	0.44	8.54	10.88	1.03	4.53	0.43	75.98	7.23
合計							790.70	244.13	2,280.46	3,315.29	987.27	133.06	22.77	437.25	593.08	176.43	280.18	85.94	4,188.54	1,249.63

## 便益の現在価値算定表

箇所名: 岩国・大竹道路(残事業)

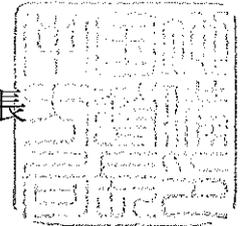
年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (山陽ブロック)			割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)		合計 (億円)		
		乗用車類	貨物車類	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 22	0.99742	0.99874	0.99785	0.6496	91.3	19.33	5.01	46.81	71.15	46.22	3.25	0.47	8.97	12.70	8.25	6.46	4.19	90.30	58.66
1年目	H 34	0.99742	0.99874	0.99784	0.6246	91.3	19.28	5.00	46.75	71.04	44.37	3.25	0.47	8.96	12.68	7.92	6.44	4.02	90.15	56.31
2年目	H 35	0.99741	0.99874	0.99784	0.6006	91.3	19.23	5.00	46.69	70.92	42.60	3.24	0.47	8.95	12.66	7.60	6.43	3.86	90.00	54.06
3年目	H 36	0.99740	0.99874	0.99783	0.5775	91.3	19.18	4.99	46.63	70.81	40.89	3.23	0.47	8.94	12.63	7.30	6.41	3.70	89.86	51.89
4年目	H 37	0.99740	0.99874	0.99783	0.5553	91.3	19.13	4.99	46.57	70.69	39.26	3.22	0.46	8.93	12.61	7.00	6.40	3.55	89.71	49.81
5年目	H 38	0.99739	0.99873	0.99782	0.5339	91.3	19.08	4.98	46.51	70.58	37.68	3.21	0.46	8.92	12.59	6.72	6.39	3.41	89.56	47.81
6年目	H 39	0.99738	0.99873	0.99782	0.5134	91.3	19.03	4.97	46.45	70.46	36.17	3.20	0.46	8.91	12.57	6.46	6.37	3.27	89.41	45.90
7年目	H 40	0.99738	0.99873	0.99781	0.4936	91.3	18.98	4.97	46.39	70.35	34.72	3.19	0.46	8.90	12.55	6.20	6.36	3.14	89.26	44.06
8年目	H 41	0.99737	0.99873	0.99781	0.4746	91.3	18.93	4.96	46.34	70.23	33.33	3.19	0.46	8.88	12.53	5.95	6.34	3.01	89.11	42.29
9年目	H 42	0.99736	0.99873	0.99780	0.4564	91.3	18.89	4.95	46.28	70.12	32.00	3.18	0.46	8.87	12.51	5.71	6.33	2.89	88.96	40.60
10年目	H 43	0.98994	0.99905	0.99288	0.4388	91.3	18.70	4.95	46.23	69.88	30.66	3.15	0.46	8.86	12.47	5.47	6.28	2.76	88.63	38.89
11年目	H 44	0.98984	0.99905	0.99283	0.4220	91.3	18.51	4.94	46.19	69.64	29.39	3.11	0.46	8.86	12.43	5.25	6.24	2.63	88.31	37.27
12年目	H 45	0.98973	0.99905	0.99278	0.4057	91.3	18.32	4.94	46.15	69.40	28.16	3.08	0.46	8.85	12.39	5.03	6.19	2.51	87.99	35.70
13年目	H 46	0.98963	0.99905	0.99273	0.3901	91.3	18.13	4.94	46.10	69.16	26.98	3.05	0.46	8.84	12.35	4.82	6.15	2.40	87.66	34.20
14年目	H 47	0.98952	0.99905	0.99267	0.3751	91.3	17.94	4.93	46.06	68.92	25.85	3.02	0.46	8.83	12.31	4.62	6.10	2.29	87.34	32.76
15年目	H 48	0.98941	0.99905	0.99262	0.3607	91.3	17.75	4.93	46.01	68.68	24.77	2.99	0.46	8.82	12.27	4.43	6.06	2.19	87.01	31.39
16年目	H 49	0.98929	0.99904	0.99256	0.3468	91.3	17.56	4.92	45.97	68.45	23.74	2.95	0.46	8.81	12.23	4.24	6.01	2.09	86.69	30.06
17年目	H 50	0.98918	0.99904	0.99251	0.3335	91.3	17.37	4.92	45.93	68.21	22.75	2.92	0.46	8.81	12.19	4.06	5.97	1.99	86.36	28.80
18年目	H 51	0.98906	0.99904	0.99245	0.3207	91.3	17.18	4.91	45.88	67.97	21.80	2.89	0.46	8.80	12.15	3.90	5.92	1.90	86.04	27.59
19年目	H 52	0.98894	0.99904	0.99239	0.3083	91.3	16.99	4.91	45.84	67.73	20.88	2.86	0.46	8.79	12.10	3.73	5.88	1.81	85.71	26.43
20年目	H 53	0.98881	0.99904	0.99234	0.2965	91.3	16.80	4.90	45.79	67.49	20.01	2.83	0.46	8.78	12.06	3.58	5.83	1.73	85.39	25.32
21年目	H 54	0.98869	0.99904	0.99228	0.2851	91.3	16.61	4.90	45.75	67.25	19.17	2.79	0.46	8.77	12.02	3.43	5.79	1.65	85.06	24.25
22年目	H 55	0.98856	0.99904	0.99222	0.2741	91.3	16.42	4.89	45.71	67.01	18.37	2.76	0.46	8.76	11.98	3.28	5.74	1.57	84.74	23.23
23年目	H 56	0.98842	0.99904	0.99216	0.2636	91.3	16.23	4.89	45.66	66.77	17.60	2.73	0.46	8.76	11.94	3.15	5.70	1.50	84.42	22.25
24年目	H 57	0.98829	0.99904	0.99209	0.2534	91.3	16.04	4.88	45.62	66.54	16.86	2.70	0.46	8.75	11.90	3.02	5.65	1.43	84.09	21.31
25年目	H 58	0.98815	0.99904	0.99203	0.2437	91.3	15.85	4.88	45.57	66.30	16.16	2.67	0.45	8.74	11.86	2.89	5.61	1.37	83.77	20.41
26年目	H 59	0.98801	0.99904	0.99197	0.2343	91.3	15.66	4.87	45.53	66.06	15.48	2.63	0.45	8.73	11.82	2.77	5.56	1.30	83.44	19.55
27年目	H 60	0.98786	0.99903	0.99190	0.2253	91.3	15.47	4.87	45.49	65.82	14.83	2.60	0.45	8.72	11.78	2.65	5.52	1.24	83.12	18.73
28年目	H 61	0.98771	0.99903	0.99184	0.2166	91.3	15.28	4.86	45.44	65.58	14.20	2.57	0.45	8.71	11.74	2.54	5.47	1.19	82.79	17.93
29年目	H 62	0.98756	0.99903	0.99177	0.2083	91.3	15.09	4.86	45.40	65.34	13.61	2.54	0.45	8.70	11.70	2.44	5.43	1.13	82.47	17.18
30年目	H 63	0.98740	0.99903	0.99170	0.2003	91.3	14.90	4.86	45.35	65.10	13.04	2.51	0.45	8.70	11.66	2.33	5.38	1.08	82.14	16.45
31年目	H 64	0.98724	0.99903	0.99163	0.1926	91.3	14.71	4.85	45.31	64.87	12.49	2.47	0.45	8.69	11.61	2.24	5.34	1.03	81.82	15.76
32年目	H 65	0.98708	0.99903	0.99156	0.1852	91.3	14.52	4.85	45.27	64.63	11.97	2.44	0.45	8.68	11.57	2.14	5.29	0.98	81.49	15.09
33年目	H 66	0.98691	0.99903	0.99149	0.1780	91.3	14.32	4.84	45.22	64.39	11.46	2.41	0.45	8.67	11.53	2.05	5.25	0.93	81.17	14.45
34年目	H 67	0.98673	0.99903	0.99142	0.1712	91.3	14.13	4.84	45.18	64.15	10.98	2.38	0.45	8.66	11.49	1.97	5.20	0.89	80.85	13.84
35年目	H 68	0.98656	0.99903	0.99134	0.1646	91.3	13.94	4.83	45.13	63.91	10.52	2.35	0.45	8.65	11.45	1.88	5.16	0.85	80.52	13.25
36年目	H 69	0.98637	0.99903	0.99127	0.1583	91.3	13.75	4.83	45.09	63.67	10.08	2.31	0.45	8.65	11.41	1.81	5.11	0.81	80.20	12.70
37年目	H 70	0.98619	0.99903	0.99119	0.1522	91.3	13.56	4.82	45.05	63.43	9.65	2.28	0.45	8.64	11.37	1.73	5.07	0.77	79.87	12.16
38年目	H 71	0.98599	0.99902	0.99111	0.1463	91.3	13.37	4.82	45.00	63.19	9.25	2.25	0.45	8.63	11.33	1.66	5.02	0.73	79.55	11.64
39年目	H 72	0.98579	0.99902	0.99103	0.1407	91.3	13.18	4.81	44.96	62.96	8.86	2.22	0.45	8.62	11.29	1.59	4.98	0.70	79.22	11.15
40年目	H 73	0.98559	0.99902	0.99095	0.1353	91.3	12.99	4.81	44.91	62.72	8.49	2.19	0.45	8.61	11.25	1.52	4.93	0.67	78.90	10.67
41年目	H 74	0.98538	0.99902	0.99087	0.1301	91.3	12.80	4.80	44.87	62.48	8.13	2.15	0.45	8.60	11.21	1.46	4.89	0.64	78.57	10.22
42年目	H 75	0.98516	0.99902	0.99078	0.1251	91.3	12.61	4.80	44.83	62.24	7.79	2.12	0.45	8.59	11.17	1.40	4.84	0.61	78.25	9.79
43年目	H 76	0.98494	0.99902	0.99070	0.1203	91.3	12.42	4.79	44.78	62.00	7.46	2.09	0.45	8.59	11.12	1.34	4.80	0.58	77.92	9.37
44年目	H 77	0.98471	0.99902	0.99061	0.1157	91.3	12.23	4.79	44.74	61.76	7.15	2.06	0.45	8.58	11.08	1.28	4.75	0.55	77.60	8.98
45年目	H 78	0.98447	0.99902	0.99052	0.1112	91.3	12.04	4.78	44.69	61.52	6.84	2.03	0.45	8.57	11.04	1.23	4.71	0.52	77.27	8.59
46年目	H 79	0.98422	0.99902	0.99043	0.1069	91.3	11.85	4.78	44.65	61.29	6.55	1.99	0.45	8.56	11.00	1.18	4.66	0.50	76.95	8.23
47年目	H 80	0.98397	0.99902	0.99034	0.1028	91.3	11.66	4.78	44.61	61.05	6.28	1.96	0.45	8.55	10.96	1.13	4.62	0.47	76.63	7.88
48年目	H 81	0.98371	0.99901	0.99024	0.0989	91.3	11.47	4.77	44.56	60.81	6.01	1.93	0.44	8.54	10.92	1.08	4.57	0.45	76.30	7.55
49年目	H 82	0.98344	0.99901	0.99015	0.0951	91.3	11.28	4.77	44.52	60.57	5.76	1.90	0.44	8.54	10.88	1.03	4.53	0.43	75.98	7.23
合計							790.70	244.13	2,280.46	3,315.29	987.27	133.06	22.77	437.25	593.08	176.43	280.18	85.94	4,188.54	1,249.63

一般国道2号 岩国・大竹道路  
〔広島県への意見照会と回答〕

国中整企画第36号  
国中整港計第19号  
平成22年10月5日

広島県知事 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る  
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成22年10月26日(火)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成22年10月15日(金)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

中国地方整備局 企画部 企画課

課長補佐 浜崎

教習係長 木本

電話：082-221-9231

FAX：082-227-2651

(別紙)

【河川事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
江の川総合水系 環境整備事業	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る  
対応方針(原案)を作成するためのものです。

【道路事業】

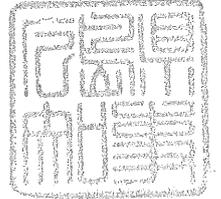
事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道2号 岩国・大竹道路	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る  
対応方針(原案)を作成するためのものです。

土 総 第 2 9 号  
平成 2 2 年 1 0 月 1 5 日

中国地方整備局長 様

広 島 県 知 事



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る  
意見照会について（回答）

平成 2 2 年 1 0 月 5 日付け国中整企画第 3 6 号及び国中整港計第 1 9 号で照会のあ  
った下記事業について、対応方針（原案）案については異存ありません。  
なお、個別の事業についての意見は別紙のとおりです。

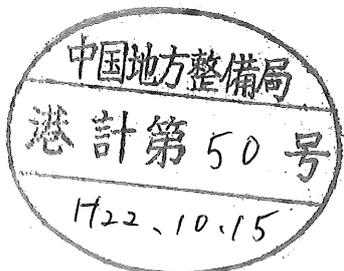
記

- ・ 河川事業 江の川総合水系環境整備事業
- ・ 道路事業 一般国道 2 号岩国・大竹道路

以上



担当  
総務管理部土木総務課経営調整グループ  
電話 082-513-3814  
F A X 082-223-3593



(別紙)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）案に対する意見

【河川事業】

事業名	江の川総合水系環境整備事業
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	異存はありません
(具体的意見)	
<p>当該事業については、河川区域内の環境保全に資するとともに、沿川住民の河川利用や子供たちの環境学習の場として多くの利活用が図られており、引続きコスト縮減に努めながら整備を進めていただきたい。</p> <p>なお、計画見直しを行うこととされた下原箇所については、見直し後の計画について適切な時期に再度説明をいただきたい。</p>	

【道路事業】

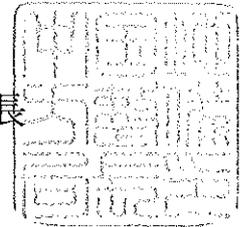
事業名	一般国道2号 岩国・大竹道路
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	異存はありません
(具体的意見)	
<p>岩国・大竹道路については、国道2号の慢性的な交通渋滞の緩和や、広島県西部と山口県東部の連携機能を向上するために、整備の必要があると考えます。</p> <p>今後も引き続きコストの縮減に努めながら、計画的に整備を進めていただきたい。</p>	

一般国道2号 岩国・大竹道路  
〔山口県への意見照会と回答〕

国中整企画第36号  
国中整港計第19号  
平成22年10月5日

山口県知事 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る  
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会（以下「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成22年10月26日（火）に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成22年10月15日（金）までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

中国地方整備局 企画部 企画課

課長補佐 浜崎

教習係長 木本

電話：082-221-9231

FAX：082-227-2651

(別紙)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道2号 岩国・大竹道路	継続	
一般国道2号 周南立体	継続	

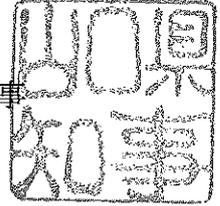
※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る  
対応方針(原案)を作成するためのものです。



平 22 技術管理 第 446 号  
平成 22 年 (2010 年) 10 月 15 日

中国地方整備局長 様

山 口 県 知 事



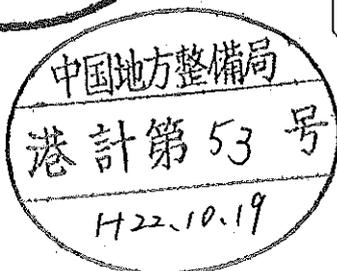
中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針 (原案) の作成に係る  
意見照会について (回答)

平成 22 年 10 月 5 日付け国中整備企画第 36 号で意見照会のありましたこのことについて、下記のとおり回答します。

記

事業名	一般国道 2 号岩国・大竹道路
<p>【意見】 本事業の実施により、現国道 2 号の渋滞緩和や交通事故の減少等が見込まれるとともに、岩国基地民間空港などの広域交通拠点へのアクセス性の向上や岩国地域と大竹地域の連携強化が期待される。 今後も、引き続き、地域の合意形成を図りながら、コストの縮減等に配慮の上、計画的に事業を進めていただきたい。</p>	

事業名	一般国道 2 号 周南立体
<p>【意見】 本事業の実施により、国道 2 号の渋滞緩和や交通事故の減少等が見込まれるとともに、徳山東 IC 等の交通拠点へのアクセス性の向上が期待される。 今後も、まずは平面交差点改良の実施等による効果等を確認し、地域の合意形成を図りながら、計画的に事業を進めていただきたい。</p>	



技術管理課企画班

主任 田中 英樹

〒753-8501 山口市滝町 1-1

TEL 083-933-3632/FAX 083-933-3669

E-mail : tanaka.hideki@pref.yamaguchi.lg.jp